

# **平成31年度予算主要事業**

**平成31年2月5日**

**荒 川 区**

## 平成31年度予算主要事業

| NO | 事業名                                                                                                                             | 予算額        |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1  | <b>高齢者の自立支援・重度化防止事業の充実</b><br>在宅高齢者が、日常生活機能の維持・改善をととして自立した生活が継続できるよう、福祉用具の給付や新たな通所型サービスを開始する。                                   | 2,887万円    |
| 2  | <b>出産・子育て応援事業＜新規＞</b><br>妊娠届出の際に助産師等による妊婦の全数面接を行うとともに個別支援プランを作成し、妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援体制の構築を図り、妊婦や家族が安心して健やかに子育てができるよう支援する。    | 1,857万円    |
| 3  | <b>産後ケア事業の拡充</b><br>生後4か月までの母子を対象に、宿泊型、日帰り型に加え、新たに助産師が自宅を訪問し、乳房ケアや育児指導を行う訪問型の産後ケア事業を開始する。                                       | 1,086万円    |
| 4  | <b>待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大</b><br>民間ビルの転貸借や鉄道敷地の活用による保育所整備など、多様な手法を用いて保育定員の拡大を図り、待機児童の解消に向けた取り組みを継続する。                            | 9億1,655万円  |
| 5  | <b>区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進</b><br>都や特別区間の連携体制を確保し、質の高い専門人材による職員体制を構築した上で、32年度の区立児童相談所設置を目指す。また、里親や児童養護施設などの社会的養護にかかる体制整備に積極的に取り組む。 | 13億6,023万円 |
| 6  | <b>子ども応援フードドライブ＜新規＞</b><br>食品を持ち寄り、食料の確保が困難な団体・個人に提供する「フードドライブ」をスーパー等の事業者にも広げる。いただいた食品は、子ども食堂等にも積極的に提供し、地域支え合いの仕組みづくりを目指す。      | 70万円       |
| 7  | <b>新たな時代への荒川遊園リニューアル</b><br>都内唯一の公営遊園地である荒川遊園を、子育て世代にはより利用しやすく、大人を含めた全世代にとってもさらに魅力的な施設へとリニューアルする。                               | 9億4,220万円  |
| 8  | <b>中学1年生の基礎学力向上支援＜新規＞</b><br>区立中学1年生を対象とし、夏季休業中に各生徒の学習到達度に合わせた補充学習の機会をモデル校において設け、基礎的・基本的な学力のさらなる向上・学習習慣の定着につなげる。                | 150万円      |
| 9  | <b>英語検定受験料補助＜新規＞</b><br>すべての区立中学3年生を対象に実用英語技能検定の受験費用の補助を行うことで、受験機会の確保を行い、確かな国際コミュニケーション能力のさらなる向上を図る。                            | 371万円      |
| 10 | <b>学校体育館等における空調設備の設置</b><br>教育環境のさらなる充実を図るとともに、学校施設の防災機能の一層の強化のため、災害時に避難所となるすべての区立小中学校及び生涯学習センター体育館へ空調設備を設置する。                  | 8,880万円    |

| NO | 事業名                                                                                                                                            | 予算額        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 11 | 経営力を向上するための設備投資補助の拡充<br>設備投資の補助対象事業者を5年継続の中小企業へ拡充し、補助特例枠に「先端設備等導入計画」及び「特例承継計画」等を追加する。                                                          | 1億2,377万円  |
| 12 | 次世代へのバトンタッチ支援の拡充<br>専門家が事業者を個別訪問して、事業承継の提案やアドバイスを行うとともに、関係団体と連絡協議会を立ち上げて、事業者が相談しやすい環境を整備する。                                                    | 619万円      |
| 13 | 観光アプリの導入＜新規＞<br>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などで訪日するインバウンド需要を見据え、まちあるきマップを電子化し、観光情報の提供を行う。また、GPSを使用したまちあるきコースのルートナビゲーション機能により区内の回遊性を高め、地域経済の活性化を図る。 | 743万円      |
| 14 | 奥の細道旅立ち330周年記念事業<br>荒川ふるさと文化館に「奥の細道コーナー」を新設するほか、町会等の関係団体と力を結集して、芭蕉関連事業のさらなる充実や、奥の細道関連自治体と連携した区民ツアーの実施など、「俳句のまち あらかわ」の魅力を区内外に強力に発信する。           | 2,667万円    |
| 15 | 荒川総合スポーツセンターリニューアル<br>区内最大の屋内スポーツ施設である荒川総合スポーツセンターをだれもが快適に、安全に利用できるように施設に大規模改修し、32年度にリニューアルオープンする。                                             | 24億5,721万円 |
| 16 | 新尾久図書館の整備<br>区内初の公園内図書館として、32年度中の開館を目指し、あらゆる世代が快適に読書に親しめる環境を整備し、読書を愛するまち・あらかわをさらに展開することにより、尾久地域のコミュニティの拠点を目指す。                                 | 2億2,138万円  |
| 17 | 防災街づくりのさらなる推進<br>木造密集地域内の都市計画道路整備、主要生活道路拡幅整備及び老朽建築物への対策を加速させる。また、耐震性の低い木造住宅等に対する防災対策の充実・多様化を図る。                                                | 1億9,861万円  |

※本資料中の和暦による年次は、平成による年次を採用しています。

事業名 高齢者の自立支援・重度化防止事業の充実

予算額 2, 887万円

【PRポイント】

- 高齢者の自立した生活の継続を支える福祉用具の給付開始
- 新たな通所型サービスの開始

ご自宅で生活している高齢者を支えるこれまでの取り組みに加え、今後は、さらに自立支援・重度化防止の事業を充実させ、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援していきます。

【これまでの主な取り組み】

◇交通安全杖の支給

外出時の安全確保をとおして生きがいづくりや介護予防を図っています。

◇見守り支援員銭湯派遣事業

銭湯での安心な入浴環境の提供とふれあいをとおした社会参加の促進を図っています。

◇専門職の派遣による介護予防

理学療法士や作業療法士、管理栄養士が訪問し、体の状況や環境の改善などの助言を行っています。

【31年度の新規・充実事業】

◇福祉用具給付事業の開始

歩行や入浴に不安のある高齢者を対象に、歩行支援用具（シルバーカー・手すり）と入浴補助用具（シャワーベンチ）の給付を新たに開始します。

◇新たな通所型サービスの開始

ランチタイムを挟んだ短時間のミニデイサービスを創設し、運動やレクリエーションによる身体機能等の維持・向上を図ります。利用者は、6か月の短期集中型と継続利用型のいずれかを選ぶことができます。

【問合せ先】 福祉部 高齢者福祉課長 堀 裕美子 内線2660

事業名 出産・子育て応援事業＜新規＞

予算額

1, 857万円

【PRポイント】

- 妊婦全数面接と個別支援プラン作成を行い、妊婦と赤ちゃんを一人も取り残さない・切れ目のない支援を実現します
- かかりつけ保健師がすべての妊婦を支援する仕組みを作ります

妊娠届出の際に、すべての妊婦を対象に面接を行い、個別の支援プランを作成します。

プラン作成は、あらかじめ相談先や支援方法を把握する機会になるとともに、支援内容の見える化と最適化につながります。

区では、かかりつけ保健師を軸とし、妊婦と赤ちゃん一人ひとりをきめ細かく、切れ目なく支援する仕組みを作っていきます。



助産師・保健師が全員に面接を行って支援プランを作り、母子健康手帳と一緒にお渡しします。面接後に、育児パッケージをお渡しします。



かかりつけ保健師が、妊娠中や出産後も相談に継続して応じ、関係課や必要なサービスにつなげます。実情に応じて支援プランを改訂し、支援内容の見える化・最適化を図ります。



区では、子育てを生涯を通じた健康づくりの起点と捉え、赤ちゃん和家人全体の健康づくりも視野に入れた子育て支援を目指します。

【問合せ先】

健康部

健康推進課長

尾本

由美子

内線429

事業名 産後ケア事業の拡充

予算額

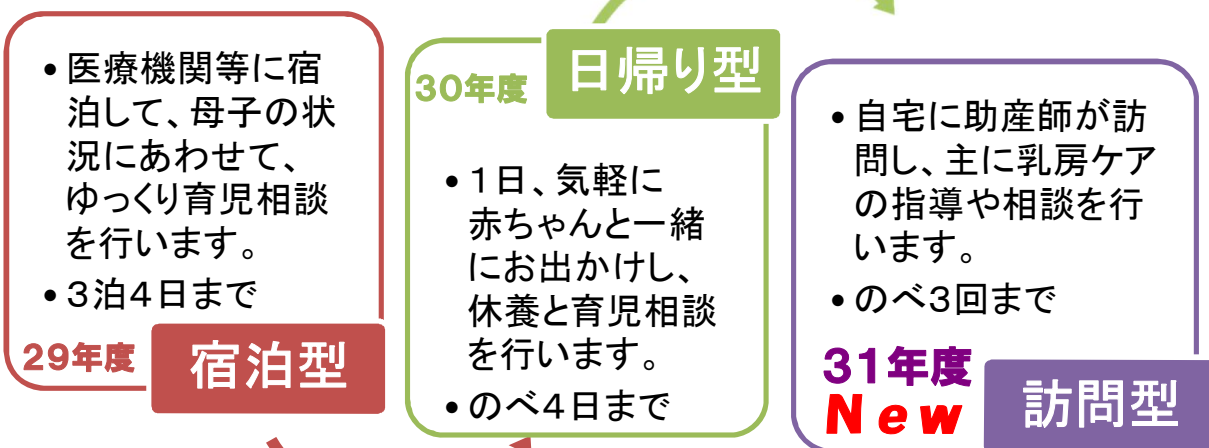
1, 086万円

### 【PRポイント】

- 好評の宿泊型、日帰り型に加え、より気軽に利用できる訪問型の産後ケアを開始します
- 助産師が自宅を訪問し、マッサージなどの乳房ケア、母乳やミルクの授乳に関する相談、指導が受けられます

現在、出産後、家族等からの援助が受けられない生後4か月までの子と母親を対象に、医療機関等で宿泊又は日帰りで助産師等による育児指導や母親に休養機会を提供する産後ケア事業を実施しています。

「**もっと多くの人に**知ってもらいたい」「母乳相談の**訪問もあれば完璧**」利用者からの声を受けて、31年度から新たに自宅で助産師による授乳指導等が受けられる訪問型を開始します。



○訪問型の自己負担（税抜）は **1,000円/回**  
（宿泊型6,000円/日、日帰り型4,000円/日）

○助産師等から育児指導を受けることで、育児に対する不安感の軽減につなげ、児童虐待の予防を図ります。



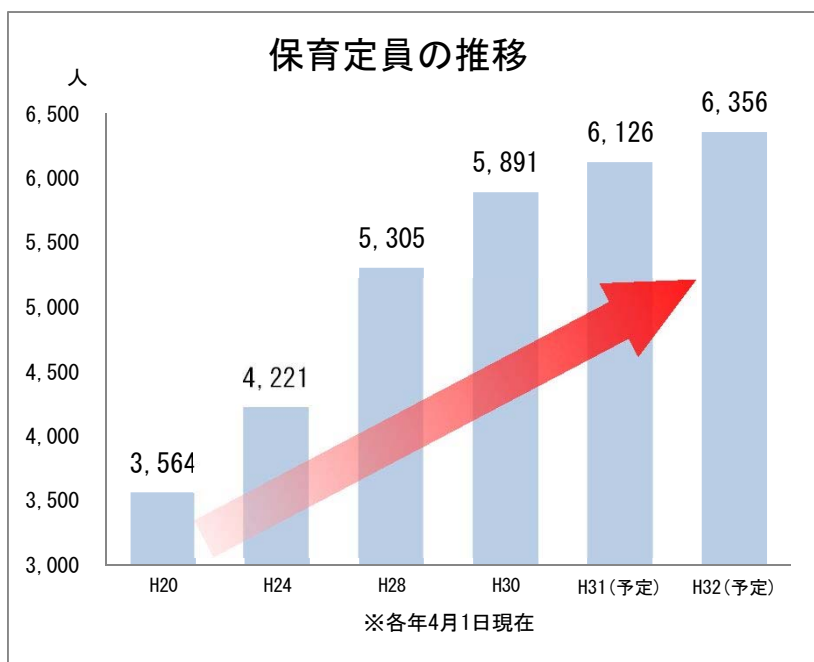
【問合せ先】 子育て支援部 子育て支援課長 伊藤 節子 内線3810

事業名 待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大

予算額 9億1,655万円

【PRポイント】

- 新たな保育園を31年度に4園、32年度に3園開設するなど、400人超の定員拡大
- 民間ビルの転貸借や鉄道敷地の活用など、多様な手法で新たな保育園を整備



保育利用率

54.6%

23区中1位

23区平均45.6%

(東京都の集計資料による)

子育て世代が増えている中で、保育定員の拡大を積極的に図り、保育利用率はこの5年間で約10ポイント上昇しています。

○区では、都市公園内への保育所整備や、国有地の活用など多様な手法を駆使し、この10年間で2,300人以上の保育定員を拡大しました。

今後も鉄道敷地や金融機関の遊休スペースの活用等により保育所を整備し、平成32年4月までに400人を超える保育定員の拡大を予定しています。

引き続き様々な方法を用いて定員拡大を図り、待機児童解消につなげます。

○認可保育園等の入園審査作業にA1入所選考システムを導入し、審査時間を大幅に短縮することで入園の内定発表時期を早めます。

保護者の入園・就労準備期間がより長く確保されるなど、区民サービスの向上につながります。

【問合せ先】 子育て支援部 保育課長 大森 重紀 内線3820

**事業名 区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進**

予算額 13億6,023万円

**【PRポイント】**

- 児童相談所建設工事が本格化 ― 32年度の設置を目指し準備を加速します
- 「荒川区の子どもは荒川区が護る」 ― 地域や関係機関との連携強化と児童相談・子育て支援策のより一層の充実を図っていきます

○区では、増加し続ける虐待相談への対応を充実させるため、「児童相談所の設置」と「子どもに関わる各種事業・各種機関の連携強化」を車の両輪として、強力に推し進めています。

○児童相談所については、都や特別区間の連携体制を確保し、質の高い専門人材による職員体制を構築した上で、32年度の設置を目指します。児童相談所に一時保護所を付設し、子どもが安心して生活できるよう、家庭的で温かみのある雰囲気重視した設計としています。

○虐待等により親と暮らすことができない子どもが安心して生活できる場を確保するため、里親や児童養護施設など、社会的養護の体制整備に積極的に取り組みます。

**【外観イメージ】**



**【問合せ先】** 子育て支援部 児童相談所準備担当課長 西浦 啓子 内線3840

事業名 子ども応援フードドライブ＜新規＞

予算額

70万円

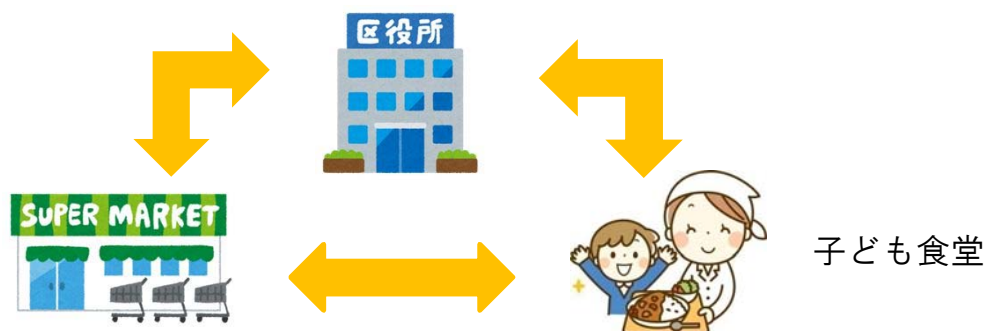
【PRポイント】

- 食品ロスのさらなる削減！  
～フードドライブの取り組みをスーパー等の事業者に拡大
- 子どもたちを地域で支える！  
～いただいた食品は子ども食堂等にも積極的に提供

眠ったままとなった食品を持ち寄り、食料の確保が困難な団体や個人に提供するフードドライブの取り組みを、スーパー等の事業者にも広げます。

いただいた食品は、子ども食堂等にも積極的に提供し、将来的には区内の事業者と近隣の子ども食堂等が連携した、地域支え合いの仕組みを目指します。

- 区では、27年度にフードドライブを開始して以来、川の手荒川まつり等の各種イベントでの回収をはじめ、4か所で常設受付を実施しています。
- スーパー等の事業者からもフードドライブの食品を提供いただくことで、食品ロス削減を図るとともに、食料の確保が困難な方への支援につなげます。
- 提供いただける食品等の配送に当たっては、区が無料で配送する仕組みを準備し、事業者の負担を軽減します。
- 将来的には、地元のスーパーと近隣の子ども食堂等をマッチングするスキームの構築を検討していきます。



【問合せ先】 環境清掃部 清掃リサイクル課長 木下 兼吾 内線448

## 事業名 新たな時代への荒川遊園リニューアル

予算額 9億4,220万円

【PRポイント】

- 大きくなる観覧車をはじめ、アトラクションを一新
- 授乳室や休憩・食事スペースの拡張、雨天でも楽しめる室内遊び場など、子育て世代にさらに優しい施設へ
- 平成33年夏オープン予定！

都内唯一の公営遊園地であり、低年齢のお子さま連れでも安心して遊ぶことのできる荒川遊園を、親子連れにはより使いやすく、大人にとっても魅力的な施設へとリニューアルします。

## アトラクションを一新

観覧車を大型化、シースルーゴンドラの導入／馬だけじゃない！イルカ・パンダ・恐竜が回るメリーゴーランド／人気の放水型アトラクション！ウォーターシューティングライドを新設／豆汽車・スカイサイクルも新機種へ

**雨の日でも楽しめる！**

- ・子どもたちが体を動かしたり、おもちゃで遊べる室内遊び場を新設
- ・新たに導入するトランポリン状エア遊具の上に屋外テントを設置

## 夜間イルミネーションの導入

- ・観覧車やメリーゴーランドのイルミネーション、園路のライトアップが夜のムードを盛り上げます。



観覧車の夜間イルミネーションイメージ

【問合せ先】 子育て支援部 荒川遊園課長 山下 英男 内線 469

事業名 中学1年生の基礎学力向上支援＜新規＞

予算額

150万円

【PRポイント】

- 夏季休業中に各生徒の学習到達度にあわせて補充学習の機会を設けます
- 短期集中型講座で、生徒の基礎的・基本的な学力のさらなる向上・学習習慣の定着につなげます

○区では、26年度より「あらかわ寺子屋事業」を開始し、各学校において、始業前または放課後等の補充学習を継続的に行っており、基礎的・基本的な学力の定着を図ってきました。

○しかしながら、中学校に進学し、急激な学習環境の変化から、学習にとまどいが生じたり、学習意欲が低下することがあります。



夏季休業期間を利用し、民間のノウハウを十分に活用した、10日間の補充学習を行います。※31年度は2校においてモデル実施

○区立中学1年生を対象に、国語、英語、数学（算数）の3教科を一人ひとりの学習到達度にあわせ、重点的に学びます。

○学習成果を生徒・学校・保護者で共有し、2学期以降の学習指導にも活用していきます。

【問合せ先】 教育委員会事務局 指導室長 瀬下 清 内線3380

事業名 英語検定受験料補助＜新規＞

予算額

371万円

【PRポイント】

- すべての区立中学3年生を対象に、実用英語技能検定受験料の全額補助を行います
- 社会的な資格取得をととして、子どもの国際コミュニケーション能力を高めます

○区では、小学1年生から英語教育を実施しており、英語教育アドバイザーや外国人英語指導員を配置するなど、子どもたちの国際コミュニケーション能力の向上を図っています。

また、中学校では、他区に先駆け、外国人英語指導員を常駐させ、「いつでもどこでも英会話」ができる環境を整えてきました。

○さらに、中学校ワールドスクールでは、特別区全国連携プロジェクトで連携している秋田市の協力のもと、自然体験を行うとともに、公立大学法人国際教養大学における「イングリッシュ・ビレッジ」のプログラムに参加し、豊かな価値観の形成とコミュニケーション能力の一層の向上に取り組んでいます。

○31年度は、すべての区立中学3年生を対象に、英語の4技能である「聞く・話す・読む・書く」の習得を客観的にとらえることができる、実用英語技能検定の受験費用の全額補助を行います。

○英語検定の受験機会を確保することで、生徒は具体的な目標をもって学習することができます。

【問合せ先】 教育委員会事務局 指導室長 瀬下 清 内線3380

事業名 学校体育館等における空調設備の設置

予算額 8, 8 8 0 万円

【P Rポイント】

- 平成31年夏までを目途に避難所となるすべての区立小中学校及び生涯学習センター体育館に空調設備を設置します
- 熱中症対策を推進し、児童・生徒の健康を守ります
- 非常災害時において避難所で安心して過ごすことができます

昨今の記録的な猛暑や災害への備えとして、平成31年夏までを目途に、避難所となる全ての区立小中学校体育館及び生涯学習センター体育館に空調設備を設置します。

○児童・生徒の熱中症対策を推進し、教育環境のさらなる充実を図ります。

○非常災害時における避難所の暑さ寒さ対策を推進し、学校施設の防災機能の一層の強化を図ります。

【問合せ先】 教育委員会事務局 教育施設課長 平野 興一 内線3320

**事業名 経営力を向上するための設備投資補助の拡充**

予算額 1億2,377万円

**【PRポイント】**

- 中小企業の生産性革命を後押しするため、生産性向上にチャレンジする区内中小企業の設備投資を支援
- 先端設備等導入計画の認定等を受けた中小企業は、補助率・補助上限額をアップ

区では、26年度から区内で10年以上事業を継続して営む小規模事業者を対象に、既存設備の更新等を補助し、約5年間で400件を超える利用がありました。

国は2020年度までの3年間を「生産性革命・集中投資期間」と位置付けています。その動向を踏まえ、区では、区内事業者の生産性向上を強く後押しする、設備投資に対する補助を拡充します。

- より多くの区内事業者に対し、生産性の向上の機会を提供するため、区内で5年以上事業を継続している中小企業を補助対象とします。設備投資にあたっては、中小企業診断士が事業計画の策定を支援します。
- 「先端設備等導入計画」(注1)の認定、「特例承継計画」(注2)の確認等を受けた中小企業は、補助率・補助上限額をアップします。
  - (注1) 中小企業・小規模事業者が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための計画
  - (注2) 贈与税・相続税の納税猶予割合の拡大及び納税額の減免措置を受けるための計画
- 労働生産性や集客力の向上につながる設備・店舗改装に加え、ITツールを新たな補助対象とし、設備投資を幅広く支援します。

【問合せ先】 産業経済部 経営支援課長 小堀 純 内線455

事業名 次世代へのバトンタッチ支援の拡充

予算額

619万円

【PRポイント】

- 事業承継の専門家によるきめ細やかな出張相談を実施
- 金融機関、商工団体等との連絡協議会を立ち上げ、地域をあげた事業承継の支援環境を整備
- 強化月間を設け、区内事業者へのPRを強化

29年度に実施した「荒川区モノづくりセンサス」によると、  
以下のようなことがわかっています。

- ・ 60歳代以上の経営者が約70%と高齢化が進行している
- ・ 事業承継を「検討する時期にない」「検討しているが具体的には未定」と回答した事業者が42%にのぼる

このような状況のもと、事業承継を促進するため、セミナーを充実し、  
連絡協議会を立ち上げるとともに、事業者へのより踏み込んだ支援を行います！

- 事業承継の専門家が事業者を個別に訪問し、個別具体的な事業承継の提案やアドバイスを実施します。
- 金融機関及び商工団体等と連絡協議会を立ち上げ、情報交換や事業の相互補完をすることで、事業者が相談しやすい環境を整備します。
- 強化月間では、早期かつ計画的に跡継ぎを決め、事業承継を準備することの大切さをPRします。

【問合せ先】 産業経済部 経営支援課長 小堀 純 内線455

事業名 観光アプリの導入＜新規＞

予算額

743万円

【PRポイント】

- スマートフォンで観光情報を手軽に入手できます
- GPS・AR機能により、迷うことなく目的地へご案内します
- 区内を訪れる外国人旅行者にも多言語で対応します

区内には日本有数の繊維関係商店の集積地である日暮里繊維街をはじめとして、シダレザクラや夏祭り、都電沿線のバラなど四季を通じて多くの観光スポットが点在しています。

そこで、おすすめの観光スポットなどを紹介するアプリを導入することで、区の魅力を発信するとともに、観光客の回遊性をより一層高め、地域経済の活性化を図ります。



日暮里繊維街



尾久の原公園のシダレザクラ



都電とバラ



松尾芭蕉像

- 今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などで増加するインバウンドを見据え、多言語に対応することでホスピタリティの向上を図ります。
- スマートフォン・タブレットで利用できるアプリとすることで、これまで以上に区の魅力発信につながります。
- GPSを使用したまちあるきコースのルートナビゲーション機能により、回遊性をより一層高め、地域経済の活性化を図ります。

【問合せ先】 産業経済部 観光振興課長 石崎 正剛 内線460

事業名 奥の細道旅立ち330周年記念事業

予算額

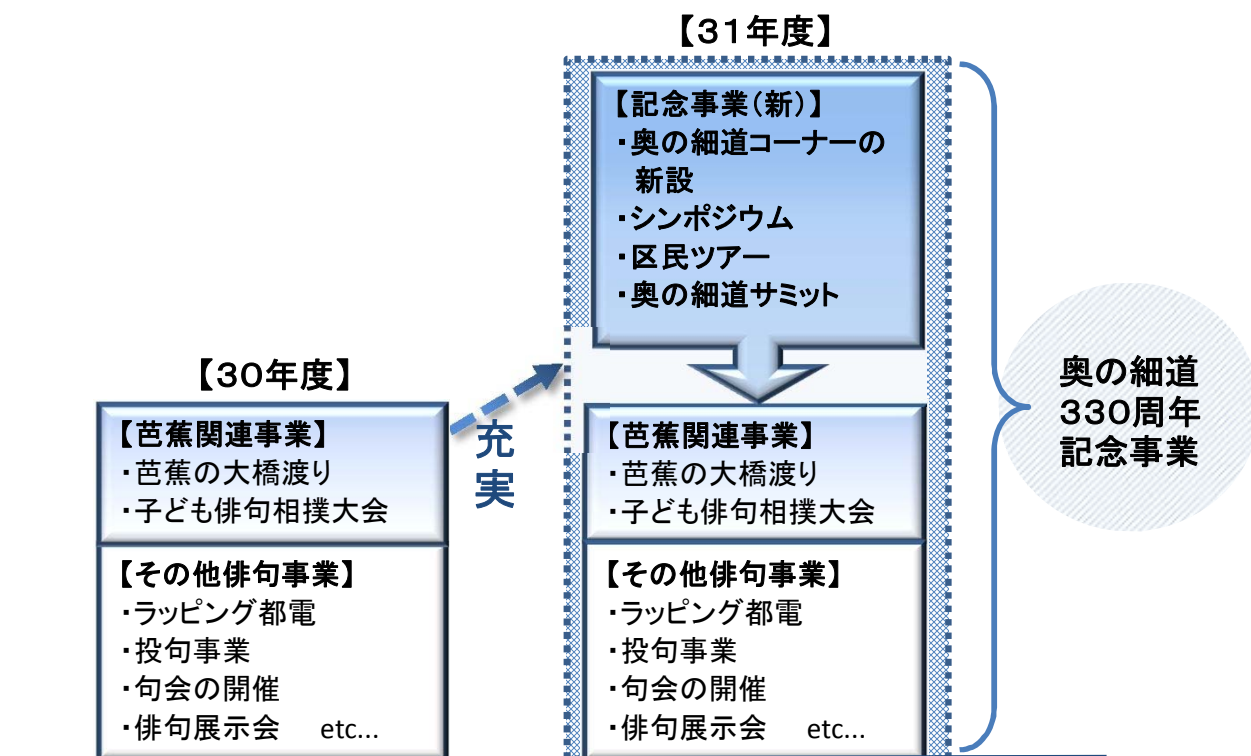
2, 667万円

### 【PRポイント】

- 荒川ふるさと文化館に「奥の細道コーナー」を新設します
- 町会・商店街・素盞雄神社・南千住駅などの関係団体と力を結集して、「俳句のまち あらかわ」の魅力を区内外に発信します
- 奥の細道関連自治体と連携して330周年を盛り上げます

1689年(元禄2年)3月27日、松尾芭蕉が奥の細道紀行に向けて旅立ちました。これを記念し、荒川ふるさと文化館常設展に大型の紀行旅程図や関連資料を展示する「奥の細道コーナー」を新設するとともに、奥の細道研究の第一人者を招へいして記念シンポジウムを開催します。

また、芭蕉の大橋渡りや子ども俳句相撲大会などの関連事業、新たに奥の細道関連自治体と連携した区民ツアー、奥の細道サミットにおける記念事業など、「俳句のまち あらかわ」の魅力を強力に発信します。



【問合せ先】 地域文化スポーツ部 生涯学習課長 浦田 寛士 内線3350

事業名 荒川総合スポーツセンターリニューアル

予算額 24億5,721万円

### 【PRポイント】

- 2020年開館！より快適に、より安全に、より多くの区民に利用されるスポーツセンターにリニューアル
- 障がいの有無に関わらず、小さなお子様から高齢者までスポーツが大好きな方も苦手な方も、皆が集う場所に

### 【目的・内容】

荒川総合スポーツセンターを2020年にリニューアルオープンし、多くの区民がスポーツを楽しむことのできる施設に生まれかわります。

### 人に優しく機能も強化

- ・プールをレベルアップ  
(大プールは公認プールと同等仕様、小プールは水深調節可能な可動床導入、両プールともスロープを新設。)
- ・ランニング走路を快適に走行できる床に
- ・震災や水害等を想定し機能を強化



### スムーズな移動が可能

- ・駐車場側からの出入口を新設
- ・エレベーターを2基増設。大体育室へ2方向からアクセス可能
- ・館内の段差を解消しバリアフリー化

### 居心地の良い空間

- ・エントランスを明るく開放的に
- ・イベントスペースや飲食可能な休憩スペース
- ・トイレ、シャワー、更衣室を一新



### いつでも快適に活動

- ・武道場を含む全館空調化
- ・競技エリアに対応した空調(輻射冷暖房設備等)の整備

【問合せ先】 地域文化スポーツ部 スポーツ振興課長 泉谷 清文 内線3370

事業名 新尾久図書館の整備

予算額 2億2,138万円

### 【PRポイント】

- 区内初！公園内への図書館建設に着手
- 地域の区民に親しまれ、あらゆる世代が快適に読書ができる尾久地域のコミュニティの拠点に

### 【目的・内容】

最大級の区立公園として、現在整備中の宮前公園内に、地域のシンボリックな建物になるよう、32年度中を目途に尾久図書館を移設・開館し、「読書を楽しむまち・あらかわ」をさらに展開していきます。

### 公園との融合

- ・公園を一望できるテラス席、館内にもバラ園を一望できる展望席を設置
- ・公園と連携したイベントができる多目的室の設置
- ・公園内での自然観察等と図書館での調べ学習の一体的実施



新尾久図書館整備イメージ図

### 読書・学習環境の充実

- ・座席数を約300席に倍増
- ・グループ学習室を新設
- ・親が読み聞かせできるおはなしコーナーや飲食コーナーを新設

### 安全・安心の確保

- ・障がい者専用駐車場を新設
- ・多目的トイレを充実
- ・地震発生時に本が落下しにくい書架を採用

【問合せ先】 地域文化スポーツ部 地域図書館課長 成瀬 慶亮 内線439

事業名 防災街づくりのさらなる推進

予算額 1億9,861万円

【PRポイント】

- 木造密集地域内の都市計画道路整備、主要生活道路拡幅整備及び老朽建築物への対策を加速させます
- 耐震性の低い木造住宅等に対する防災対策の充実・多様化を図ります

○木密地域対策関連事業のさらなる推進

アウトソーシングを活用することで実施体制を強化し、都市計画道路補助193号線や主要生活道路の拡幅に係る用地取得の折衝及び老朽建築物の除却・建替え促進のための各戸訪問をさらに加速させます。

○木造建物耐震化推進事業に除却工事助成を創設

不燃化特区外においても、耐震性の低い木造住宅等の除却を促進するために、除却工事助成を創設します。

＜荒川二・四・七丁目地区主要生活道路4号線整備の様子＞

整備前



整備後



【問合せ先】 防災都市づくり部 防災街づくり推進課長 諸角 明彦 内線2820

